

令和7年度 地球環境保全活動支援事業 交付決定一覧

No.	申請者・代表者氏名 (受付順)	事業の内容 (要約)
1	Gomyo倶楽部 代表 大内 正伸	・東かがわ市五名地区において、棚田周辺に生息する希少な動植物に焦点を当て、それらの生息状況を調査し記録保存していく。棚田耕作の継続、農業ワークショップや希少生物の観察、調理体験などを行う。 ・4月下旬: 田起し、山野草観察、水棲生物の採集・観察 ・5月下旬: 田植え、魚類や昆虫の採集・観察 ・9月下旬: 稲刈り、溜池や周辺で生物の採集・観察
2	NPO法人 まちづくり 推進隊みの 理事長 三好 章由	・三豊市三野町内のボランティアが地域の自然環境保全及び魅力的な里山づくりのため、各里山の草刈りや剪定、倒木の処理などの整備や維持管理を行う。 ・地域の住民とともに桜や紫陽花を里山に植樹して周辺の環境維持や魅力を高める活動を行う。 ・秋頃、里山の登山道周辺のゴミ拾いを行い、海へゴミが流れ出ないよう陸での回収を伝えるイベント「みの里山の日 ゴミ拾いecoハイキング」を行う。
3	桃陵八重桜を育てる会 会長 小國 聖治	・桃陵八重桜の育苗継続、大鉢での栽培、桃陵公園城ヶ崎への植樹、を行う。 ・桃陵公園に隣接する少林寺拳法本部での栽培を進める。 ・(公財)日本花の会 樹木医田中秀明氏による桜の手入れ(施肥、剪定方法)について、芽接ぎによる育苗などのワークショップを実施する。また、毎月第四土曜日本町デーに合わせて接ぎ木ワークショップを本町にて実施する。
4	ときめき花蝶会 会長 佐藤 健	・多度津町西白方地区において、スナビキソウやフジバカマの植栽を行い、飛来するアサギマダラの観察会を実施する。 ・町木である桜を育苗するため、植栽場所を整備して順次御監山不動坊参道へ植栽する。 ・桜研究家五所野尾優氏による金毘羅宮で発見した桜新品種「八少女」の取組みや植栽の現状について講演会を実施する。
5	寒川里山オーナー会 代表 三宅 淳治	・里山林を保全する活動(竹林整備や伐採、有効活用)を8月、荒天時以外の日曜日に実施する。 ・休耕田を活用して、新たに大豆やもち米を栽培して味噌づくりや餅つきに活用し、子ども食堂利用者に昔の食材を体験してもらう。 ・子ども食堂に来る子供や保護者を対象とした里山イベントを開催する。 春: 竹間伐、里山の山菜、きのこ等を味わう。夏: そうめん体験、カブトムシ採集、竹
6	香川さくらの会 代表 吉田 宏基	・桜の苗木づくり、若木の寄贈、植栽、整枝、・肥培管理 ・「高松市環境活動展」でのパネル展示 ・女木島鬼ヶ島桜の会が実施する草刈りボランティアへの参加
7	植田長春イキイキサロン 代表 秋山 史郎	・観音寺市植田町内の4か所の神社や遍路道の清掃。年8回以上。落ち葉や雑草で腐葉土を作って環境保全や美化に取り組む。 ・落ち葉等を集め腐葉土製作場所へ持っていく腐葉土になれば丸山作業所に渡す。 ・8月、2月に常盤コミュニティセンターや植田公民館で環境美化・保全に関する講演会を実施する。
8	内場城跡保存会 代表 藤井 明	・塩江町に存在する内場城跡周辺について、引き続き進入路や散策道の整備、住民参加型の里山体験等を通して周辺環境の保全に務める。 ・内場城跡周辺や散策道の草刈り等の整備を行い、多種樹木の成長や再生を促す。 ・遺構名称の案内板設置を主郭付近から行う。 ・年17回程度行うため、塩江町コミセンだよりにて参加者(20人/回)を募集する。
9	うどんまるごと 循環コンソーシアム 会長 角田 富雄	・ちよだ製作所プラント見学、フードドライブ、うどん手打ち体験、小麦種まき体験ができる「うどんまるごとエコツアー」を開催する。 ・小中学校における出前講座、校外学習、大学団体等への出前講座を行う。 ・自治体や環境団体と連携して、意見交換会の開催や新しい環境プログラムエコツアーを開発する。 ・県民向けの環境学習パンフレット等を製作する。
10	香川大学学生ESDプロジェクト「SteeP」 代表 姫野 優作	・県民や企業のSDGsに対する意識向上を目的として、県の「かがわ地方創生SDGs登録制度」に登録している企業7社を学生が赴いて取材する。 ・各社の取組みについてそれぞれのリーフレットを制作し、県民にSDGsが身近なものであると理解してもらうとともに、県民自身がSDGsに取り組むきっかけにしてもらうよう発信する。